

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	国語 A II	
科目基礎情報							
科目番号	0002		科目区分		一般 / 必修		
授業形態			単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	生産デザイン工学科（電気電子コース）		対象学年		1		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	『現代の国語』（数研出版）、『言語文化』（数研出版） 『テーマ別 漢字＆語彙の徹底攻略2500+』（東京法令出版）						
担当教員	木本 拓哉						
到達目標							
1. 論理的な文章を読み、構成や展開に基づいて論旨を理解し、要約することができる。 2. 文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などを味わい、その効果を説明できる。 3. 古文・漢文を正しく音読し、リズムや韻などを味わうことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	論理的な文章の構成・展開を正しく理解し、要約した上で、自分の意見を表すことができる。		論理的な文章の構成・展開を正しく理解し、要約できる。		論理的な文章の構成・展開を理解、要約することができない。		
評価項目2	文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などを味わい、その効果を説明できる。また、代表的な文学作品の日本文学史上における位置を理解できる。		文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などを味わい、その効果を説明できる。		文学作品を読み、人物・情景・心情の描写などの効果を説明できない。		
評価項目3	古文・漢文の表現を学び、熟語・ことわざ・慣用句などの知識を活用し、自ら創作できる。		古文・漢文の表現を学び、創作できる。		古文・漢文の表現を学び、創作することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 E① 歴史・文化・国語・外国語を学び、コミュニケーションするための基礎的な教養を身に付ける。							
教育方法等							
概要	社会生活に必要な国語の理解能力・思考力・鑑賞力を養い、心情を豊かにして、言語活動の向上を図ることを目的とする。授業では古文、漢文を読解することで、言語文化に対する関心を深め、多角的な視点で考える力を養う。また、語句学習・漢字学習を通して基本的な知識を身につけ、表現力・文章力を磨く。						
授業の進め方・方法	次回学習する単元を予習してくる。配布するプリント類を整理すること。問いに対して簡潔明快な答えで応答すること。						
注意点	辞書類・国語便覧を活用し、積極的に疑問を投げかけてほしい。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 古文（1）		授業の目標と概要を理解できる。 身近な古文表現に親しみながら、古典文法・表現を理解できる。		
		2週	古文（2）―物語を読む①―		物語の作者と作品の成立について理解できる。助動詞の用法を学び、現代語訳できる。		
		3週	古文（3）―物語を読む②―		物語を読み、登場人物の関係を理解できる。また、登場人物の心情や人間像を捉えることができる。 意見を交換し、理解を深めることができる。		
		4週	古文（4）―日記・随筆を読む①―		日記・随筆の作者と作品の成立、他の作品との関係について理解できる。		
		5週	古文（5）―日記・随筆を読む②―		日記・随筆を読み、作者の心情を捉えることができる。 意見を交換し、理解を深めることができる。		
		6週	古文（6）―和歌を読む①―		和歌の作者と作品の成立、時代背景について理解できる。		
		7週	古文（7）―和歌を読む②―		和歌を読み、作者の心情を捉えることができる。 意見を交換し、理解を深めることができる。		
		8週	中間試験		1～7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を確認する。		
	4thQ	9週	試験の解説 漢文（1）―漢文の句法①―		試験内容を理解し、不正解だった箇所はその理由を説明することができる。 身近な漢文表現に親しみながら、漢文訓読の基礎を理解できる。		
		10週	漢文（2）―漢文の句法②―		漢文訓読の句法を理解できる。		
		11週	漢文（3）―故事をよむ①―		漢詩のきまりやリズム、韻について理解できる。		
		12週	漢文（4）―故事を読む②―		漢文を正しく書き下し文にできる。書き下し文をもとに現代語訳できる。		
		13週	漢文（5）―故事を読む③―		内容を正しく把握し、故事の意味を考えることができる。白文に訓点を付すことができる。 故事の内容について意見を交換し、理解を深めることができる。		
		14週	漢文（6）―史話を読む①―		中国古典の文章を読み、作品の背景を踏まえて内容を理解できる。		

		15週	漢文（7）－史話を読む②－	史話を読み、登場人物の心情や人間像を捉えることができる。 意見を交換し、理解を深めることができる。
		16週	定期試験	9～14週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	1	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	1	後3,後5,後7,後13,後15
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	1	後3,後5,後7,後13,後15
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	1	後3,後5,後7,後13,後15
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	1	後3,後5,後7,後13,後15
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	1	後3,後5,後7,後13,後15
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	後3,後5,後7,後13,後15
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	後3,後5,後7,後13,後15
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	後3,後5,後7,後13,後15
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	2	後3,後5,後7,後13,後15
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	2	後3,後5,後7,後13,後15
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	2	後3,後5,後7,後13,後15
				合意形成のために会話を成立させることができる。	2	後3,後5,後7,後13,後15
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	2	後3,後5,後7,後13,後15

評価割合

	試験	小テスト	演習・レポート	合計
総合評価割合	70	10	20	100
基礎的能力	50	10	20	80
専門的能力	20	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0